

会社概要／株主メモ

Corporate Profile / Shareholders' Memo

(2017年9月30日現在)

■ 会社概要

商号	： ころネット株式会社
発足	： 2006年4月 [当社の前身である(有)菅野石材工業の設立は1966年3月]
所在地	： 福島県福島市鎌田字舟戸前15番地1
代表者	： 代表取締役会長 菅野 松一 代表取締役社長 齋藤 高紀
資本金	： 500百万円
決算日	： 3月31日
従業員数	： グループ: 572名 [外、臨時従業員39名] 単体: 29名
事業内容	： グループ運営にかかる経営戦略企画、業績管理、 不動産管理、総務・経理・人事等の管理

■ 役員

代表取締役会長 菅野 松一	取締役 (常勤監査等委員) 谷藤 静広
代表取締役社長 齋藤 高紀	取締役 (監査等委員) 大出 隆秀
常務取締役 羽田 和徳	取締役 (監査等委員) 菅野 晴隆
取締役 菅野 孝太郎	
取締役 菅野 利徳	

■ 株主メモ

上場市場	： 東京証券取引所ジャスダック市場
上場日	： 2012年4月25日
証券コード	： 6060
事業年度	： 4月1日から3月31日まで
定時株主総会	： 6月中
株主確定基準日	： 3月31日
剰余金の配当の基準日	： 3月31日、9月30日
株式の売買単位	： 100株
公告掲載方法	： 電子公告の方法により行います。 ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告を することができない場合には、日本経済新聞に掲載を行 います。 電子公告掲載URL: http://cocolonet.jp/
株主名簿管理人 及び特別口座の 口座管理機関	： 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	： 〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
各種事務 手続き	： 詳しくは、三菱UFJ信託銀行のHPページにてご確認ください。 http://www.tr.mufg.jp/daikou/



感動のある人生を。
ころネットグループ

株主の皆様へ

2018年3月期 第2四半期のご報告

証券コード 6060



ころネット株式会社
〒960-0102 福島県福島市鎌田字舟戸前15番地1
TEL 024-573-6556 FAX 024-573-6560 HP <http://cocolonet.jp/>



※環境に配慮して再生紙と植物由来のインクを使用しています。



より高い目標の達成に向け、 中期経営計画を推し進める。



代表取締役社長 齋藤 高紀

私たちは、人々の「こころ」に
満足と安らぎをもたらす
サービスを提供いたします。

Q1 上期の業績と通期見通しをお教えてください。

上期は、事業再編効果などにより、
減収ながらも営業増益となりました。

当社グループが展開している営業エリアにおいて、事業環境は引き続き厳しい状況にあります。葬祭事業では、死亡者数が微増傾向にあるものの、葬儀の小規模化が続いています。石材卸売・小売事業では、墓石の小型化や埋葬方法の多様化等により引き続き墓石需要は低迷しています。また、婚礼事業では、婚礼施行件数が減少傾向にある中、競争環境も激化しています。

こうした事業環境下、上期の連結業績につきましては、売上高は前年同期比4.3%減、営業利益は同2.4%増、経常利益は同12.2%減、親会社株主に帰属する四半期純利益は同10.6%減となりました。

売上面では、各種営業活動の推進などが奏功し葬祭事業が業績を伸ばしたものの、石材卸売事業や婚礼事業が前年同期を大幅に下回った結果、減収となりました。一方、営業増益の主な

要因としては、事業再編による効率化や仕入原価および経費削減などの効果が表われたものと評価しております。具体的には、婚礼事業が営業損失を計上したものの、葬祭事業、石材小売事業が大幅に利益を伸ばしたことによります。

2017年度の通期の業績見通しにつきましては、当初予想の通り、減収減益を見込んでおります(下表参照)。厳しい事業環境が続いておりますが、少しでも予想を上回るよう、グループ一丸となって取り組んでまいります。

■ 業績の推移

(単位:百万円)

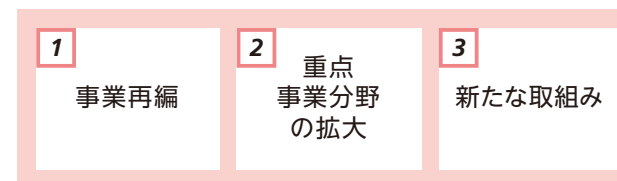
	2017/3		2018/3	
	上期(実績)	通期(実績)	上期(実績)	通期(予想)
売上高	5,767	11,670	5,517	11,297
営業利益	424	885	434	753
経常利益	520	1,013	457	775
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	381	567	341	523

Q2 中期経営計画の進捗状況はいかがですか。

2017年度は、「事業再編」など3つの重点施策を
着実に推し進めております。

当社グループは現在、中期経営計画(2016年度~2018年度)を推進しております。売上高・利益ともに最終年度の数値目標を初年度の2016年度に達成したことから、新たな目標を設定し、より高い目標の達成に向けて取り組んでおります。

中計2年目の当期(2017年度)は、次の3つの重点施策に取り組んでおります。



「事業再編」については、2017年4月に石材卸売事業、石材小売事業、生花事業、その他の装販部門を再編しました。また、婚礼事業では、同年4月、採算の取りにくくなった大型婚礼会場を休館する一方で、新たな収益基盤として小規模婚礼会場の新設を行うなど、スクラップ&ビルドを進めております。さらに同年9月、葬祭事業を営んでいる連結子会社「株式会社たまのや」と「有限会社牛久葬儀社」(2015年M&Aにより子会社化)の合併を行いました。これら一連の事業再編により、当社グループでは組織の効率化と経営資源の集中を図ることができたと考えております。

「重点事業分野の拡大」については、葬祭事業において、福島県本宮市の葬祭事業会社「有限会社玉橋」の株式を新たに取得し、2017年12月に子会社化しました。また、生花事業、その他の装販部門を営んでいる連結子会社「株式会社フルール」では、

新たに「青森営業所」を開設するなど営業エリアの拡大を図っております。

「新たな取組み」については、屋内納骨堂ビジネスや再生可能エネルギー分野などの新規事業に取り組む中、2017年6月に連結子会社「こころeパワー株式会社」を設立し、事業本格化に着手しております。

以上のとおり、3つの重点施策は順調に進捗しております。

Q3 最後に、株主の皆様へのメッセージをお願いします。

100年を超える企業グループとして、
これからも地域の皆様と共に発展してまいります。

株主の皆様への利益還元につきましては、「安定・継続」を基本に、上場以来、年間配当30円を継続する中、2017年度は、中間配当15円を実施し、期末配当は15円(予想)、年間配当30円を計画しております。

当社グループは、2017年、葬祭事業を営んでいる「株式会社たまのや」が創業125周年という大きな節目を迎えました。明治・大正・昭和・平成の4つの時代にまたがる長きにわたり、たくさんのお客様のご支援、ご愛顧を賜り、心より御礼申し上げます。そして当社は、地域に根差した関連企業が経営統合により持株会社として2005年に誕生し、以来、事業領域や営業エリア、業容の拡大を積極的に推し進めてまいりました。当社設立から12年間の歩みは、厳しい事業環境下での経営となりましたが、将来に向けた成長基盤を一つひとつ積み上げていくことができたことと自負しております。その間、株主の皆様からあたたかいご支援を賜りましてまいりました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

株主の皆様には、引き続き当社グループの経営にご理解、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

既存事業の基盤強化に加え、新規事業立ち上げの本格化が着実に進捗しております。

葬祭事業における取り組み

新たに「有限会社玉橋」をM&Aにより子会社化。 「株式会社たまのや」を中核に、葬祭事業の収益基盤をさらに強化。

当社は成長戦略の一つとして「M&Aによるグループの規模拡大および企業価値の向上」を推し進めております。

葬祭事業においては、2015年7月に「有限会社牛久葬儀社」を子会社化し、2017年9月に同社を「株式会社たまのや」に吸収合併しました。これに伴い葬祭事業の中核企業である連結子会社「株式会社たまのや」は、福島、郡山、会津、関東の4つの事業部として新たな歩み始めております。さらに2017年12月には、「有限会社玉橋」の全株式を取得し、子会社化しました。これにより、当社グループ葬祭事業における営業エリアは更に拡大し、今後、シナジーの発揮も期待されます。

福島地区	郡山地区
11会館	6会館
会津地区	関東地区
5会館	1会館

(2017年12月1日現在)

有限会社玉橋
(福島県本宮市本宮字南町裡71番7)

- 業歴67年を超える葬祭事業会社
- 地元で根差した営業により、安定した業績
- 1979年設立

旧 有限会社牛久葬儀社
(茨城県牛久市柏田町1907-1)

- 40年近い歴史
- 茨城県牛久市における葬送儀礼文化の第一人者として地域に貢献
- 現在は、「たまのや」に吸収合併

Pick-up
社会的評価

「株式会社たまのや」は「創業100年事業所」として表彰されました。

2017年9月13日に催された「福島商工会議所創業100周年記念式典」において、「株式会社たまのや」は、創業100年を越える企業として「創業100年事業所」の表彰を受けました。

石材卸売・小売事業における取り組み

屋内納骨堂の開発を推進

石材卸売・小売事業を営んでいる連結子会社「カンノ・トレーディング株式会社」は、お客様へのサービス向上と収益基盤の強化を図るため、東京都の宗教法人と屋内納骨堂の開発を進めております。

現在開発中の屋内納骨堂は、宗旨・宗派不問で約4,000区画の納骨堂を設けており、葬儀・法事もすべて行える5階建ての施設となっております。なお、屋内納骨堂の経営主体は宗教法人であり、竣工後、「カンノ・トレーディング株式会社」は納骨堂の販売代行を行います。



生花事業における取り組み

株式会社フルール「青森営業所」を開設。

連結子会社である「株式会社フルール」は、従来から福島県福島市、栃木県小山市、山形県山形市を拠点として生花事業を展開しておりますが、2017年10月1日に新たに「青森営業所」(青森県上北郡おいらせ町)を開設しました。これにより、更なる業容拡大とエリア拡大、およびお客様へのサービス向上を図ってまいります。



再生可能エネルギー分野における取り組み

「こころeパワー株式会社」を設立。

当社は、新規事業への取り組みの一環として、再生可能エネルギー分野への参入準備を進めてまいりました。2017年6月には、連結子会社「こころeパワー株式会社」を設立し、再生可能エネルギー分野への取り組みを本格的に開始しました。

また、同年8月には当社および「こころeパワー株式会社」は、「三浦電機株式会社」(本社:北海道稚内市)が調査・開発を進めてきた北海道における風力発電事業に対し、3社合同で調査・開発を進める基本合意書を締結しました。現在は、その調査・開発の結果に基づき事業化の検討を進めております。

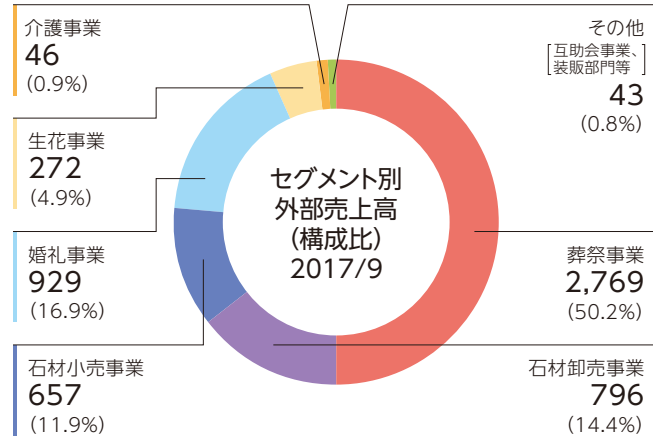


■ 決算・業績ハイライト

(単位:百万円)

	2016/9	2017/9	増減率
売上高	5,767	5,517	△4.3%
営業利益	424	434	2.4%
経常利益	520	457	△12.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	381	341	△10.6%
	2017/3	2017/9	増減率
総資産	21,043	20,604	△2.1%
純資産	8,696	8,966	3.1%
自己資本比率	41.3%	43.5%	2.2%

■ セグメント別外部売上高(構成比)



*単位はすべて百万円、百万円未満は切捨てて表示。

■ 決算のポイント

売上高の状況

各種営業活動の推進などが奏功し葬祭事業が業績を伸ばしたものの、石材卸売事業や婚礼事業が前年同期を大幅に下回ったこと等により、売上高は前年同期比4.3%減。

損益の状況

営業利益は事業再編による効率化や仕入原価および経費削減などの効果が表われ、前年同期比2.4%増、経常利益は休止固定資産原価償却費の計上などにより同12.2%減、親会社株主に帰属する四半期純利益は同10.6%減。

セグメント別の概況

- 葬祭事業**：各種営業活動の推進などが奏功し、売上高は前年同期比5.7%増。
- 石材卸売事業**：新規開拓やインド・ベトナム加工墓石の販売に努めたものの、受注増加には至らず、売上高は前年同期比10.0%減。
- 石材小売事業**：墓石需要低迷のなか、建立件数は横ばいで推移し、売上高は前年同期比0.8%減。
- 婚礼事業**：少人数婚礼会場のオープン、Webプロモーションや婚礼情報収集の強化など集客力のアップに努めたものの、売上高は前年同期比24.7%減。
- 生花事業**：生花店や葬儀社等への継続的なアプローチに努めたものの受注増加には至らず、売上高は前年同期比1.6%減。
- 介護事業**：医療機関・居宅介護支援事務所との連携により、サービス付き高齢者向け住宅の入居率は高水準を維持し、売上高は前年同期比2.4%増。
- その他**：互助会事業では、互助会会員の会員数の増加に努め、装販部門では、高単価商品及び新たなエコ商品の販売に注力した結果、売上高は前年同期比10.1%増。

■ 株式の状況

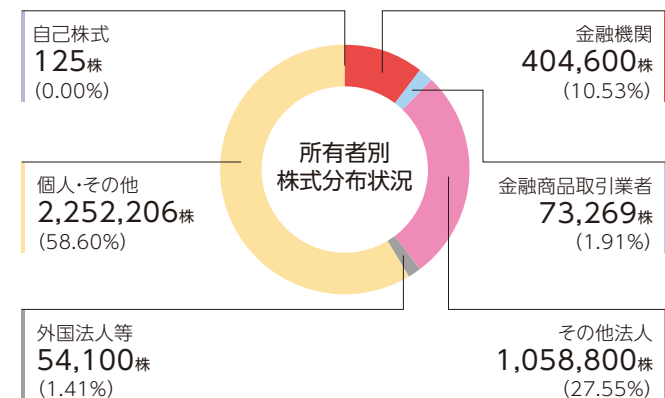
発行する株式の総数 5,100,000株
 発行済株式の総数 3,843,100株
 株主数 1,217名

■ 大株主

株主名	所有株式数 (株)	持株比率 (%)
カンノ合同会社	970,000	25.24
齋藤 高紀	382,170	9.95
川島 利介	274,175	7.13
こころネットグループ従業員持株会	183,640	4.78
(株)東邦銀行	175,000	4.55
(株)福島銀行	135,000	3.51
内藤 征吾	114,900	2.99
齋藤 フヨ	74,830	1.95
菅野 孝太郎	70,740	1.84
福島信用金庫	50,000	1.30

*カンノ合同会社は、当社代表取締役会長菅野松一氏並びにその親族の保有資産の管理を行う会社です。

■ 所有者別株式分布状況



■ 株価・出来高の推移

(2017年9月30日現在)

